

総合文化学科 教育の基本方針

【教育の基本方針】

学生個々の意志を最大限に尊重し、それぞれの目的達成のため、日々の学びを通じて支援していきます。学びを通じて獲得したものを発信する機会の設定を重視し、地域社会と積極的に関わります。

【教育目標】

相対的な思考力を持ち、自ら学びえたことを明快に表現する能力を身につけることを目指します。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

総合文化学科では、教育の基本方針に基づいて教育目標を定め、その目標に即した学習成果を収めて、所定の単位を修得した学生に対し、以下の観点から学位を認定、授与します。

1. 建学の精神を理解し、他者を敬い、地域・社会に貢献できる、豊かな人間性をそなえている。
2. 在学期間の学びを通じ、絶えず学び続けることの意義を理解している。
3. 特色ある教育課程を通じて、学習成果を収めている。

【カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）】

総合文化学科では、本学科が目指す学生像をふまえ、下記のような教育課程を編成します。

1. 豊かな教養やキャリア形成のための力を養う共通教育科目と、専門分野の学びを深める専門科目を設置しています。
2. 専門科目は、必修科目と8つの分野からなり、各種資格・検定等の取得にも対応しています。必修科目は、ゼミナール4科目に加え、日本語表現・日本語学入門・日本文学入門、信州総合学・ホスピタリティ入門とし、日本語日本文学の学びをベースに地域総合科学科としての学びの範囲を広げていきます。
3. 実習・体験型の科目では、地域への理解を深めるとともに、他者を敬う気持ちや多角的な判断力と行動力を身につけます。

【アドミッション・ポリシー（入学者の受入方針）】

総合文化学科では、次のような方の入学を求めています。

1. 大学生生活を自己の飛躍の場と位置付けている人
2. 本学科のカリキュラムによって、豊かな教養と専門知識・能力を身につける意欲のある人
3. 地域社会と自己の関わり方を模索する意欲のある人

【アセスメント・ポリシー】

以下のデータによって検証・測定する。

- 卒業要件の達成状況……CP・DP
- 単位の取得状況……CP・DP
- G P A……CP
- 資格試験合格状況……CP
- 検定試験合格状況……CP

また、以上の結果を総合的に検証し、教育課程の改革・改善に活用する。

【学生支援の基本方針】

1. 必要な情報をゼミ担任へ集約し、充実した学生生活を送れるよう支援する。
2. 学科行事・全学行事等への積極的な参画を促し、行動力の向上を図る。
3. 資格取得に向けた特別講座を展開する。

◇学習成果

総合文化学科では、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに関連させ、次の8つの学習成果を設定しています。

1. 豊かな教養を身につけている。
2. 社会人として活躍できる専門的知識・能力を身につけている。
3. 的確な判断により、問題を解決する力（問題解決能力）を身につけている。
4. キャリア形成のための自己分析や、社会に対する洞察力を身につけている。
5. 地域について理解し、地域社会に貢献することができる。
6. 人間関係において、他者を敬い、周囲と協調することができる。
7. 免許・資格等の取得に向けて意欲的に取り組み、その成果を社会生活に活かすことができる。
8. 状況に応じて、適切なプレゼンテーションを行なうことができる。